

《感想文》 ローマ兵の特別てんで行って

アクトン 小三

今日は、大好きな大英博物館で行われている、ローマ兵士の特別てんに行ってきました。げんち校のれきしの授業で、ローマンブリテンについて学んだため、い前から行ってみたかったのです。私はこのてん覧会で、新たな発見を二つしました。

まず一つ目は、兵士の入たい理由です。私は人々がなぜ、きけんなくんたいの仕事をしたがるのか、ふしぎに思っていました。

しかし、二十五年間ぐんではたらくと、市民けんやメダル、十年分の給料に相当する退しよく金など、みりよくなほうびがあることを知り、なぞが解けました。

二つ目は、兵士が使っていた道具です。兵士は、なんと二十五キロもあるたてを持ち、三十五キロ行進をしていたそうです。しかも一ヶ月に三回もその訓練をしたのです。会場には、体けんコーナーまであり、そこで私もじつさいにヘルメットをかぶり、たてを持ってみました。片手では上がらず、両手で数センチだけ、なんとか持ち上げるのができました。いかに兵士がたくましく、強いか知ることができました。

もしも私が二千年前、男の子としてイギリスに生まれていたたら、兵士にあこがれたと思います。今回博物館へ行き、ローマ時代にタイムスリップした気分になれ、よい思い出になりました。

【評】「はじめ・中・おわり」の構成で、展覧会に行きたかった理由、新しく学んだこと、感じたことが読み手に分かりやすく伝えられました。

《日記》 日記

アクトン 小一

ハーフトームにかぞくでベルギーにいきました。

ゆうめいなものは、チョココレート、ワッフル、ムールがい、レースなどです。じつさいにレースをつくっているところをけんがくしました。チョココレートをかけたワッフルは、とてもおいしかったです。またいきたいです。



【評】ベルギーには、有名なものやおいしいものがたくさんあるのですね。心に残ったことが、しっかり書けました。

《俳句》 春のいばき

アクトン 小六

雪とける 水のしずくが 花にのる



【評】雪がとけて春が訪れる様子が伝わる俳句です。

《紀行文》 スキーの楽しさとてんてん

アクトン 中一

みなさん、スキーについてどのようなイメージをもっていますか。寒いとか痛いとか怖いなどひていてきなことを思い浮かべてしまうのではないのでしょうか。確かにスキーは一步間違えば大けがをしてしまうことがある、危険なスポーツです。

でも、空いている坂を誰にもじやまされなないで、すべり降りている時の気分は、とても最高です。



一般的に、スキー場には四種類のコースがあります。まず、初級者向けの緑のコースがあります。このコースは、坂がゆるやかで私には物足りないです。次に少し難しい青のコースがあります。私はこの青のコースが気持ちよくすべれるので、好きです。

次に赤のコースがあります。赤は、坂が急になり、コースにコブがあったりして難しいです。私は赤もすべったことがあります。怖かったです。そして、一番難しいコースが黒のコースです。私はまだ黒をすべったことがないので、どれほど難しいのかは分かりません。スキーは、自分のレベルによって、コースを選ぶことができます。

私は今まで、フランス、オーストリア、スロベニアでスキーをしました。六年前に行ったスロベニアでは、スキースクールで一緒だった女の子と友達になりました。毎晩、夕食を一緒に食べて、そのあと部屋で遊んでとても楽しかったです。スキーは一人で自分のペースで好きなようにすべるのも楽しいですが、友達と一緒にすべって、途中の景色を楽しむのもよいと思います。

イギリスはスキー場がありません。スキーは手軽に始められるものではありません。でも機会があれば、みなさんにもスキーを体験して、その楽しさに気づいてほしいです。

【評】単元「情報を整理して書く」の必要事項に基づき、スキーの楽しさを読者に上手に伝えることができました。

《生活文》 えんぞく

クロイドン 小二

学校のえんぞくで、こくりつびじゅつかんに行きました。たくさん



の絵を見ました。「じょうずだね。すごいね。」と、ともだちと言いました。ガイドさんに、絵がどこからきて、

だれがかいたのかおしえてもらいました。どうやってこんなにたくさん絵をあつめたのだろうと思います。

【評】学校の遠足で行った美術館の様子や、〇さんとお友達の様子がよく伝わってきます。